



「歯車技術センター」を開設
～ものづくりの大切さを学べる場に～

～ 豊精密工業㈱ ～

会社創立50周年の節目を迎えた2008年11月、その記念事業の一環として、本社・瀬戸工場の一角に「歯車技術センター」をオープンさせた。デファレンシャルギヤをはじめとして、エンジンやミッション向けの精密歯車が主力の当社では、「歯車は機械や自動車の動力を伝える重要部品である。ものづくりの大切さを学ぶことのできる場を多くの皆さんに提供したい。」との考えから当センターの設立を決意、2002年よりオープンに向けた準備を開始した。



豊精密工業㈱本社内にてオープンした歯車技術センター

展示品は、当社が使用していた古い機械の他、全国の企業や大学に眠る歯車加工における“名機”を探し出し、12台ほどを常設で展示している。60年以上も前に製作され、ごく最近まで稼動していた歯切り盤や、国産第1号のカサ歯車噛み合い試験機、また一部動態保存された貴重な機械たちは一見の価値ありだ。

その他にも、歯車の世界で著名な人物の紹介とその研究成果を伝えるコーナーや、歯車の生産工程や歯車教育用の資料を紹介するコーナーにも多くの人が関心を寄せる。

歯車や歯車を加工する機械を集めた展示室は全国でも珍しく、2008年のオープン以来、お客様や取引先の皆様、社会見学の小学生や就職活動中の学生さんなど、多くの方々に当センターを見学して頂く事ができ、ものづくりの楽しさを体感して頂いている。



センター内にて展示している貴重な“名機”たち